

日放技発第361号  
2018年6月28日

都道府県（診療）放射線技師会長 各位

公益社団法人  
日本診療放射線技師会  
会長 中 澤 靖 夫  
(公印省略)

### 平成30年度診療報酬改定の検証調査（お願い）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、日頃より本会活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年度の診療報酬においては、「画像診断管理加算3」新設によって、画像診断分野においては、初めて診療報酬上での評価として、被ばく線量管理の重要性が打ち出されたことです。今回は基本的なCT撮影料やMRI撮影料について点数評価に変更はありませんでしたが、MRIの加算については心臓MRI加算、小児鎮静下MRI撮影加算、頭部MRI撮影加算等の評価がありました。放射線治療に関しては、外来放射線治療加算の新設、遠隔放射線治療計画加算の新設などがありました。一方、医師の負担軽減・ICTの活用の拡張がより明確化されました。

平成30年度の診療報酬改定の結果は、本会からの要望事項はあまり反映されませんでした。平成32年度改定に向け、引き続き要望をしております。

本アンケート調査は、診療報酬の改定から2ヶ月が過ぎ、その影響等を検証し、平成32年度の診療報酬に向けた準備の一環として進めているところです。

今回も前回同様に多くの回答数を集めるべく、アンケートをお送りさせていただきました。

つきましては、会員の皆様には、ご多用中のところ大変恐縮ですが、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具